

シーズ分野;基礎医学 病理学

研究シーズ;高病原性鳥インフルエンザウイルスに対するワクチンの開発



— カニクイザル感染実験系を用いた新たな免疫療法の模索 —



病理学講座 疾患制御病理学部門

教授 伊藤 靖

「サルでこそ分かる有効なインフルエンザ対策」

■関連文献・特許

- Virology 493:31-38, 2016
- PLoS ONE 8: e75910, 2013
- Nature 460, 1021, 2009
- Vaccine 28, 780, 2010
- Immunology 124, 155, 2008

■研究概要

インフルエンザウイルス(季節性、パンデミック及び高病原性鳥インフルエンザウイルスを含む)に対するワクチンや抗ウイルス薬、新規免疫療法の開発をしている。

高病原性鳥インフルエンザウイルス感染におけるヒトの死亡原因を明らかにするため、ウイルス感染により重症になるカニクイザルの実験系を確立した。この実験系により、インフルエンザが重症化する原因が徐々に明らかになってきており、感染による死亡を防ぐ新たな免疫療法を模索している。

■応用展開・共同研究テーマ例

- ・インフルエンザウイルス感染の新たな免疫療法の研究
- ・抗インフルエンザ薬の前臨床研究としての有効性評価

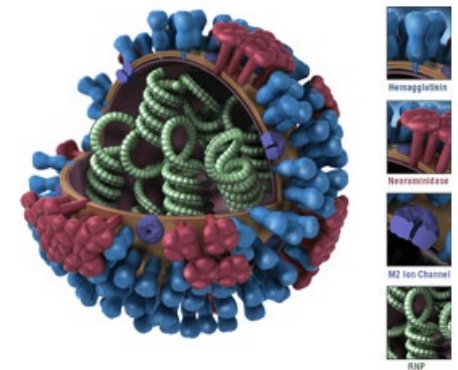
■研究者からのお願い(ニーズ)

- ・上記共同研究テーマのパートナーを見つけたい
- ・ワクチンの効果増強に関する共同研究をしたい
- ・抗インフルエンザ薬の候補物質を見つけたい

カニクイザル感染実験系



インフルエンザウイルス



アメリカCDC

お問い合わせ先

滋賀医科大学 研究推進課 産学連携担当

077-548-2847 E-mail;hqsangaku@belle.shiga-med.ac.jp